

心細い程減る

清酒の仕込

次年度への持越し 十二萬五千石

東北六縣内だけで

世の不景氣を一番厳しく感田縣六萬三千三百四石青森
づるのナンと云つても酒縣三萬一千二百九十七石山
類業者であるそれで不景氣形縣七萬二千五百三十一石
の此の頃東北地方に於ける此合計實に三十二萬四千九
酒類の賣れ行きを見れば二十九石と云ふ
るに何れも不良にして仙臺 大多量の持ちこしで
稅務監督局管内各縣の釀造不景氣の絶頂と云はれた昨
場の中にある持ちこし酒を酒造年度の持ちこし量と殆
見ただけでも宮城縣は四萬と同量の持ちこしとなつて
六千四百四拾石で前年の持るものである、此の持ちこ
ちこし量より三千五百五拾の大なるがため來酒造年
八石多く若手縣の持ちこし 度の清酒造力見込は之亦
は三萬二千六百五拾昨年大減少し秋田縣に於て僅に
の夫より千八百二十石減額四分九厘の増しを示したの
島縣七萬九千九百九十二石秋みで他はことごとく減石

白井翁の遺骨

今夕平驛着

故白井遠平翁の病死は既報町白井邸へ安置し來る十五
の如くであるが、死体は昨日午前十時より南町裏に齋
十二日花里に付し、遺骨は場を設けて葬儀を執行する
本日午前十一時上野發列車管であるが委員長は安島重
にて白井博之氏始め一門の三郎氏副委員長中野浩忠氏
家族に護られて今夕午後五時導師は赤井井嶽住職旭純
時五分平驛着をより紺屋榮二で隨喜の僧侶は十餘名
形式にとらわれたる

縣議の戦費

最高で千九百圓

混戦の石城郡から、縣議戦されて居る、十一名の候補
に出馬したる、候補者の運者中、植田署管内の、古川
動費は最高、五千萬圓の選挙費用は、去る九日ま
を下のまいと迄、とりさだでに全部平署へ其精算書を

提出済となつたが最高は鈴
木辰三郎氏の千九百四十九
圓で最低は山代吉宗氏の四
百一圓廣瀬眞氏は四百圓余
その他は若松美三氏千二百
圓野崎滿藏氏及び山崎吉平
氏共に千七百圓と云ふ所九
氏の總額一萬四千九百四十
八圓三十六錢一人平均千三
百五十八圓九十四錢で只の
一人も二千圓を突破したる
者無く法定の選挙費用より
平均千圓宛も余り金がある
とは實に其少額に驚か
ざるを得ないもので實際の
出費額とは雲泥の差がある
事は何人も首肯する所であ
るあれ程事務長の頭を悩ま
し形式の届出をなさしむる
は誠に法の不備も極まれり
と云ふべしだ

全勝祝賀會

石城民政部會

民政黨石城支部會では、今回
の縣議戦に公認の三名全部
當選したので福島支部から
祝賀として金五十圓を寄附
されたのを機として新たに黨
旗を作成し來る十七日午後
一時から平町松ヶ岡公園で
大勝祝賀會を開催し黨旗樹
立式を舉行して大々的氣焔
を揚げる筈である

政友支部の 選挙慰勞會

二十二日福島市で

本縣政友會支部では北會津
の皆川石城の井上耶麻の岡
野安達の田倉等の領袖連何
れも枕を並べて縣議戦に落

本縣馬匹共進會に 本郡よりの出頭馬匹

本郡よりの出頭馬匹
來る十一月四日より六日開
郡山市に於て開催される本
縣役馬共進會に石城郡より
出頭する役馬左の如し

三坂村	折内菊三郎
三坂村	アンダールマン 雜種國美
三坂村	大谷 忠松

平水道竣工式に 高齡者優待

紅白の祝餅交付

平水道竣工式は既報の如外四十二名の高齡者に紅白
の祝餅を交付する
は同日白銀町野ナラ(八九)

水戸小學校生の遠足

七百餘名來平

茨城縣水戸市小學校生徒七
百餘名は亦加井嶽參詣を兼
ね磐城地方遠足運動として
今夕來平し住吉屋本支店新
藤屋本支店大村屋本支店各
旅館へ凡そ百名宛分宿した

加波山事件の講話

於平銀行樓上

十三日會にては本日午後
六時半より平銀行樓上に於
て左記兩氏の講話がある

- 一 加波山事件の回顧 宮田佐久馬
- 一 最近事業と佛敎思想 鈴木 積善

各地雜信

磐城中學文藝部又會並びに
地方同好の士の研究團たる
美友會が主催で來る十五日
より三日間平町警城訓官院
で聯合展覽會を開催するこ

萬染物大勉強

鈴木染物店

平町 南町

明日の運

十月十四日
金曜 危
辛巳 奎宿
先負

● 白の入り頭の精力現れ
● 二黒の入り頭の加護ありて
● 立身出世する日進んで吉
● 三碧の入り頭の次々吉
● 餘の事なき出で來る白
● 四緑の入り頭の満たすも
● 迷ふべからず飲食物も注意
● 五黄の入り頭の至誠を以て人
● 對するときは名利共に舉
● 六白の入り頭の引立て愛べし
● 七赤の入り頭の引立て愛べし
● 八白の入り頭の自省すべし
● 九紫の入り頭の自地する日
● 易き口舌論注意のこと

石城郡勿來町小學校新築工
事は昨年來から繼續事業と
して既に第一期工事は終了
し明年一月卅一日竣工の豫
定で更に第二期工事とし
て校舍敷地三百四十三坪工
費一萬五千五百三十五圓を
以て近く着工の筈である

内務省社會局職業紹介所事
務官福原誠三郎氏は山形市
に開業される北海道及東北
六縣職業紹介打合せに臨席
の途中十一日午前十時平驛
に下車し同町職業紹介所を
視察した

口えつ吉田と好間村木
田と湯本町樋口らう